

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	歴史Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	佐藤次高ほか『詳説世界史』山川出版社、800円					
担当教員	小谷 俊博					
到達目標						
第一次世界大戦からの世界史の流れを把握し、現代社会がいかにして成立したかを理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	第一次世界大戦による国際社会の影響を問題なく説明できる。		第一次世界大戦による国際社会の影響の大枠を理解している。		第一次世界大戦による国際社会の影響が理解できていない。	
評価項目2	第二次世界大戦による国際社会の影響を問題なく説明できる。		第二次世界大戦による国際社会の影響の大枠を理解している。		第二次世界大戦による国際社会の影響が理解できていない。	
評価項目3	戦後社会から現代に至る過程を問題なく説明できる。		戦後社会から現代に至る過程の大枠を理解している。		戦後社会から現代に至る過程が理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	現代社会の成立過程を学ぶことが主たる目的である。それゆえ、時事問題の理解も重要な課題であり、授業ごとにニュースを取り上げることがある。					
授業の進め方・方法	原則としてスライドを用いて流れを説明する。					
注意点	用語集をプリントの形で配布するので適切に管理すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		なぜ歴史を学ぶかを理解する。	
		2週	第一次世界大戦前史		第一次世界大戦に至る大まかな流れを理解する。	
		3週	第一次世界大戦とロシア革命①		バルカン半島の危機から戦時外交と総力戦までを理解する。	
		4週	第一次世界大戦とロシア革命②		大戦の結果からネップとソ連の整理津までを理解する。	
		5週	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国①		ヴェルサイユ体制とワシントン体制から西欧諸国の停滞までを理解する。	
		6週	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国②		イタリアのファシズムからアメリカ合衆国の繁栄までを理解する。	
		7週	アジア・アフリカ地域の民族運動		第一次世界大戦と東アジアからアフリカの民族運動までを理解する。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	世界恐慌とファシズム諸国の侵略①		世界恐慌とその影響を理解する。	
		10週	世界恐慌とファシズム諸国の侵略②		ニューディールとブロック経済から満州事変・日中戦争と中国の抵抗までを理解する。	
		11週	世界恐慌とファシズム諸国の侵略③		ナチス＝ドイツとファシズム諸国の攻勢と枢軸の形成までを理解する。	
		12週	第二次世界大戦①		ナチス＝ドイツの侵略と開戦から独ソ戦までを理解する。	
		13週	第二次世界大戦②		太平洋戦争からファシズム諸国の敗北までを理解する。	
		14週	第二次世界大戦③		映像資料を通して、第二次世界大戦とは何かを視覚的に理解する。	
		15週	前期期末試験			
		16週	試験返却・解説			
後期	3rdQ	1週	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立①		戦後世界秩序の形成から米ソ冷戦の始まりまでを理解する。	
		2週	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立②		東西ヨーロッパの分断から南アジア・西アジアの独立までを理解する。	
		3週	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興①		朝鮮戦争と軍拡競争の激化からアメリカ合衆国の「豊かな社会」化までを理解する。	
		4週	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興②		西欧・日本の経済復興からソ連の「雪どけ」と平和共存政策までを理解する。	
		5週	第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り①		第三世界の連携からヨーロッパでの緊張緩和までを理解する。	
		6週	第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り②		中ソ対立と中国の動揺から第三世界の開発独裁と南・東南アジアの自立化までを理解する。	
		7週	石油危機と世界経済の再編		国際経済体制のいきづまりから冷戦の終結までを理解する。	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展①		東欧の民主化からソ連邦の解体までを理解する。	
		10週	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展②		情報技術革命の進展から通商の自由化と地域統合の進展までを理解する。	

		11週	途上国の民主化と独裁政権の動揺①	途上国の民主化からアジア社会主義国家の変容までを理解する。
		12週	地域紛争の激化と深刻化する貧困①	東欧・ロシアの地域紛争からアフリカの民主化と貧困・内線までを理解する。
		13週	地域紛争の激化と深刻化する貧困②	中東・アジアの地域紛争から紛争解決・軍縮の試みまでを理解する。
		14週	現代文明の諸特徴	映像資料を通じて、現代社会の問題の一つである「差別」について考える。
		15週	後期定期試験	
		16週	試験返却・解説	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0